

日本病院会「国際医療推進委員会」

平成27年度  
「医療の国際展開に関する現状調査」  
結果報告書〔抜粋〕



一般社団法人 **日本病院会**  
Japan Hospital Association



## 目 次

<b>【調査の概要】</b> .....	2
<b>I. 回答病院施設の概要</b>	
1. 開設者別 .....	4
2. 病床規模別（許可病床） .....	4
3. 地域別 .....	4
4. 病院種別 .....	5
5. DPC .....	5
6. 「一般病棟」入院基本料区分 .....	5
7. 健診・検診センターの有無 .....	5
8. 医療機器の所有 .....	6
9. 各種認定取得状況 .....	6
<b>II. 外国人患者の受入れについて</b>	
1. 外国人患者の受入れ経験 .....	7
(1)外国人患者の受入れ人数 .....	7
(2)患者の主な出身国、属性 .....	8
(3)紹介による患者の「紹介者」 .....	8
2. 貴院では、どの外国語に対応可能か .....	9
3. 外国語対応能力の向上のための取り組み .....	10
4. 外国人患者受入れについての課題（問題点等） .....	11
<b>III. 外国人医療者の受入れについて</b> .....	12
1. 外国人医療者の受入れ経験 .....	12
2. 外国人医療者を受入れた経験のない施設に質問 .....	16
3. 外国人医療者の受入れで心配されること .....	17
<b>IV. 海外での診療について</b> .....	17
1. 現在、海外での診療に取り組んでいるか .....	17
2. 海外での診療についての課題（問題点等） .....	18
3. 海外での診療経験のない施設に質問 .....	19
4. 海外での診療において心配されること .....	19
<b>V. 海外医療サービスの展開について</b> .....	19
1. 海外医療サービス提供に取り組んでいるか .....	19
<b>VI. 全般において</b>	
1. 行政（厚生労働省、経済産業省等）や地方自治に期待すること .....	20
2. 日本病院会に期待すること .....	20
3. 「一般社団法人 Medical Excellence JAPAN」について .....	21
4. MEJ に期待することは何か .....	21
5. 海外現地の医療機器開発 .....	21
<b>〔担当委員会〕</b> .....	22

## 【調査の概要】

### ◆調査目的

会員病院に対し、医療の国際展開に関する現状把握のため、インバウンド・アウトバウンドに関するアンケート調査を行い、結果分析から今後の本委員会の方向性を検討

### ◆調査内容

#### I. 回答病院施設概要について

開設主体、許可病床数、地域別、病院種別、DPC、入院基本料区分（一般病棟）、健診・検診センターの有無、医療機器の所有、各種認定取得状況

#### II. 外国人患者の受入について

- ・外国人患者の受入れた経験の有無
- ・外国人患者の受入れ人数、出身国および患者属性
- ・紹介による外国人患者の紹介者
- ・院内で対応可能な外国語
- ・外国語対応能力向上のための取り組み
- ・全般にわたる外国人患者受入れについての課題（問題点等）

#### III. 外国人医療者の受入れについて

- ・外国人医療者の受入れた経験（準備も含め）の有無
- ・外国人医療者を受入れた人数、及び受入れ予定人数（職種・受入国・紹介者・受入診療科）
- ・外国人医療者にアピールしたいと考える貴院の特長

#### 外国人医療者を受入れた経験のない施設

- ・外国人医療者の受入れに関心の有無
- ・外国人医療者の受入れで心配されること

#### IV. 海外での診療について

- ・海外での診療の取り組み（準備も含め）の有無
- ・ " 進出理由
- ・海外の情報はどのように得ているか
- ・海外で展開する診療において、貴院の特長
- ・全般にわたる海外での診療についての課題（問題点等）

#### 海外での診療経験のない施設

- ・海外での診療に関心の有無
- ・海外での診療において心配されること

#### V. 海外医療サービス展開について

- ・海外医療サービス提供の取り組みの有無

#### VI. 全般において

- ・行政（厚生労働省、経済産業省等）や地方自治に期待すること
- ・日本病院会に期待すること
- ・「一般社団法人 Medical Excellence JAPAN」(MEJ) の認知度、及び期待すること
- ・海外現地の医療現場が必要とする医療機器開発活動への関心の有無

◆調査対象施設

一般社団法人日本病院会加盟する全ての会員 2, 417 施設の医療機関を対象に実施

◆調査期間

平成 27 年 4 月 10 日～6 月 12 日（※4 月 30 日の回答期限を 6 月 12 日まで延長）

◆調査方法

調査票（PDF・入力フォーム）を E-mail&FAX 一括送信により周知。回答は、データ送信・メール添付・FAX 送信のいずれかにより行う方式とした。他、調査用ホームページ（URL）にも調査票等を掲載した。

◆調査回収数

669 施設（回答率；27.7%）

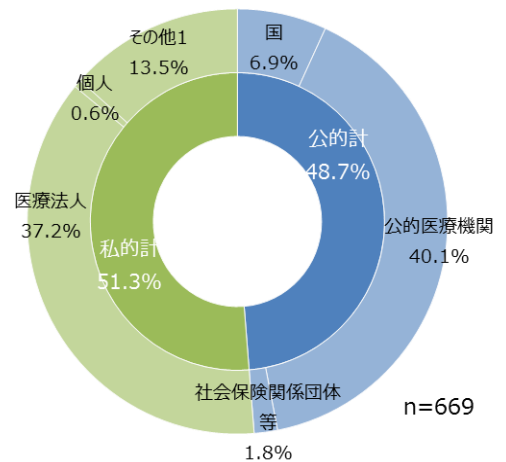
◆調査結果

調査結果を以下に示す。

# I. 回答病院施設の概要

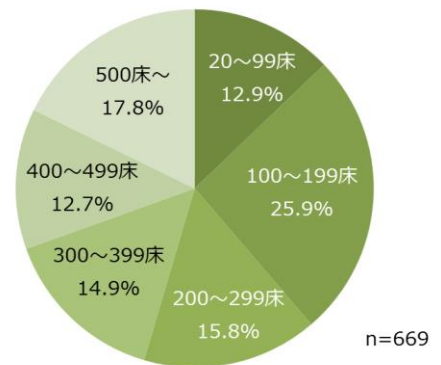
## 1. 開設者別

	病院数	割合
公的計	326	48.7%
国	46	6.9%
公的医療機関	268	40.1%
社会保険関係団体等	12	1.8%
私的計	343	51.3%
医療法人	249	37.2%
個人	4	0.6%
その他（公益法人等）	90	13.5%
合計	669	100.0%



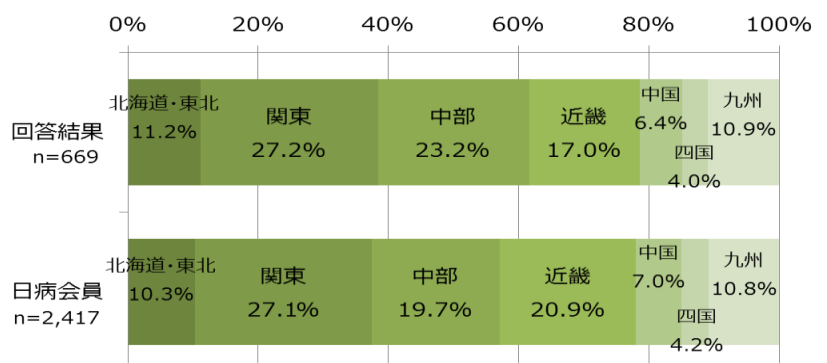
## 2. 病床規模別（許可病床）

	病院数	割合
20～99床	86	12.9%
100～199床	173	25.9%
200～299床	106	15.8%
300～399床	100	14.9%
400～499床	85	12.7%
500床～	119	17.8%
合計	669	100.0%



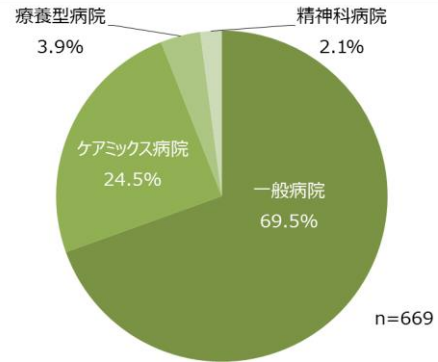
## 3. 地域別

	回答結果		日病会員	
	病院数	割合	病院数	割合
北海道・東北	75	11.2%	250	10.3%
関東	182	27.2%	654	27.1%
中部	155	23.2%	477	19.7%
近畿	114	17.0%	505	20.9%
中国	43	6.4%	169	7.0%
四国	27	4.0%	101	4.2%
九州	73	10.9%	261	10.8%
合計	669	100.0%	2,417	100.0%



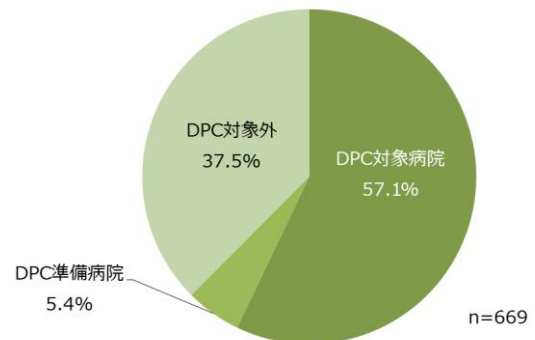
#### 4. 病院種別

	病院数	割合
一般病院	465	69.5%
ケアミックス病院	164	24.5%
療養型病院	26	3.9%
精神科病院	14	2.1%
合計	669	100.0%



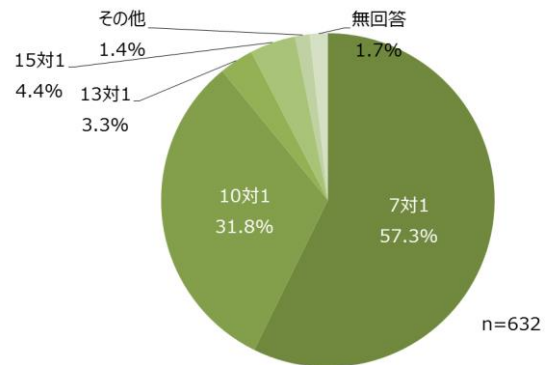
#### 5. DPC

	病院数	割合
DPC対象病院	382	57.1%
DPC準備病院	35	5.2%
DPC対象外	251	37.5%
無回答	1	0.1%
合計	669	100.0%



#### 6. 「一般病棟」入院基本料区分

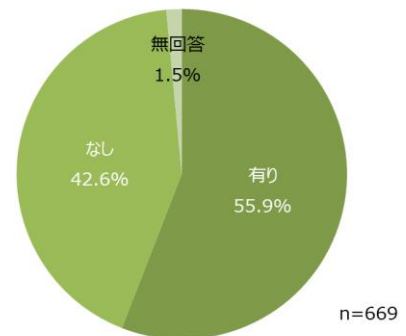
	病院数	割合
7対1	362	57.3%
10対1	201	31.8%
13対1	21	3.3%
15対1	28	4.4%
その他	9	1.4%
無回答	11	1.7%
合計	632	100.0%



※ 一般病床を有する632病院について集計

#### 7. 健診・検診センターの有無

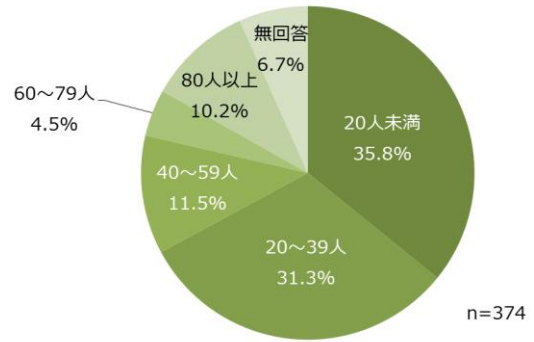
	病院数	割合
有り	374	55.9%
なし	285	42.6%
無回答	10	1.5%
合計	669	100.0%



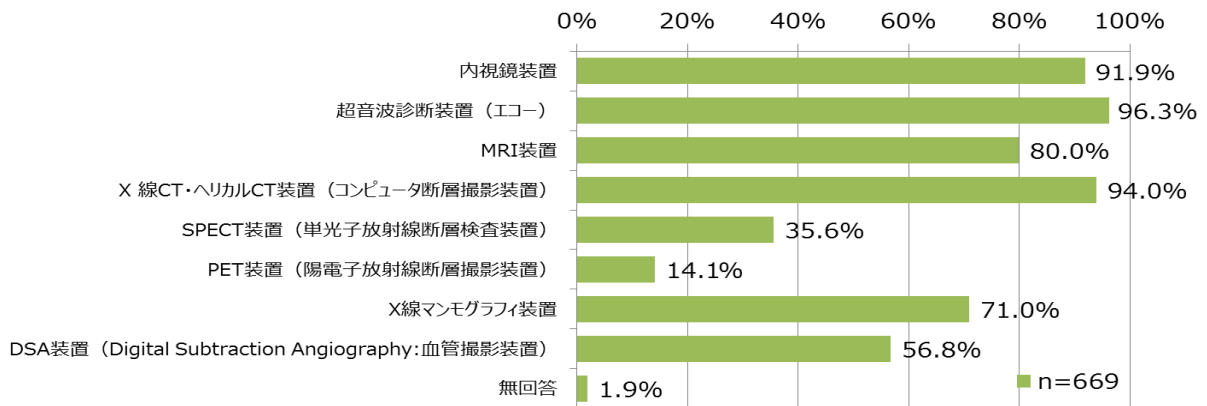
・ 1日の平均利用者数

	病院数	割合
20人未満	134	35.8%
20～39人	117	31.3%
40～59人	43	11.5%
60～79人	17	4.5%
80人以上	38	10.2%
無回答	25	6.7%
合計	374	100.0%

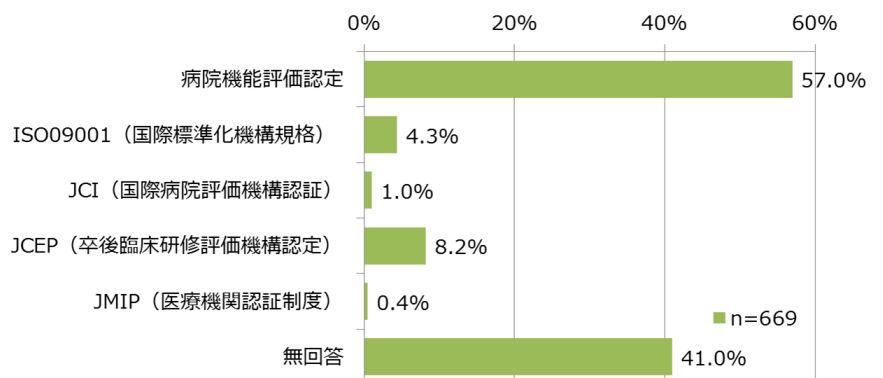
※利用者数について、入力があった病院を集計



8. 医療機器の所有（複数選択）



9. 各種認定取得状況（複数選択）



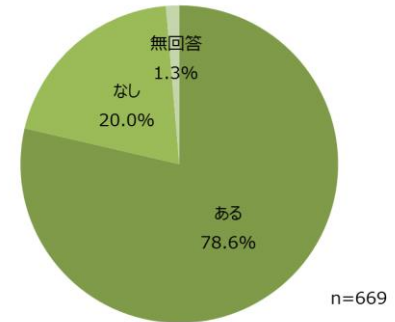
	病院数	割合
病院機能評価認定	381	57.0%
ISO09001（国際標準化機構規格）	29	4.3%
JCI（国際病院評価機構認証）	7	1.0%
JCEP（卒後臨床研修評価機構認定）	55	8.2%
JMIP（医療機関認証制度）	3	0.4%
無回答	274	41.0%

## II. 外国人患者の受入について

### 1. 外国人患者の受入れ経験

外国人患者の何らかの受入経験がある病院は 78.6%である。

	病院数	割合
ある	526	78.6%
なし	134	20.0%
無回答	9	1.3%
合計	669	100.0%

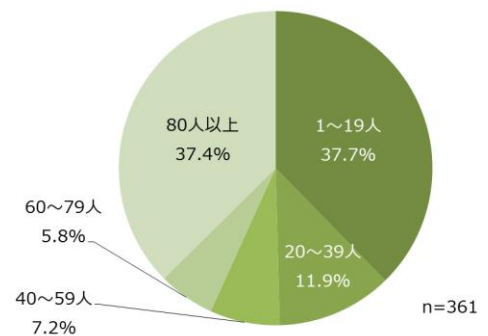


#### (1) 外国人患者の受入れ人数

##### ・来院患者数（平成 26 年 10 月～平成 27 年 3 月）

外国人患者の受入れ人数は 1～19 人の病院が 37.7%、80 人以上の病院が 37.4%と二極分化している。

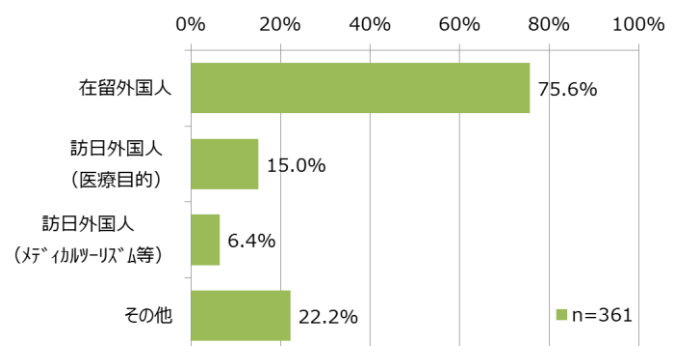
	病院数	割合
1～19人	136	37.7%
20～39人	43	11.9%
40～59人	26	7.2%
60～79人	21	5.8%
80人以上	135	37.4%
合計	361	100.0%



##### ・来院患者数\_その内訳（複数選択）

外国人患者としては在留外国人の診療経験のある病院が 75.6%、その他（恐らく観光や仕事などで日本に訪れた外国人）の診療経験のある病院が 22.2%であり、医療目的の診療経験がある病院が 15.0%であった。

n=361		
	病院数	割合
在留外国人	273	75.6%
訪日外国人（医療目的）	54	15.0%
訪日外国人（メテ'イクル'リス'ム等）	23	6.4%
その他	80	22.2%

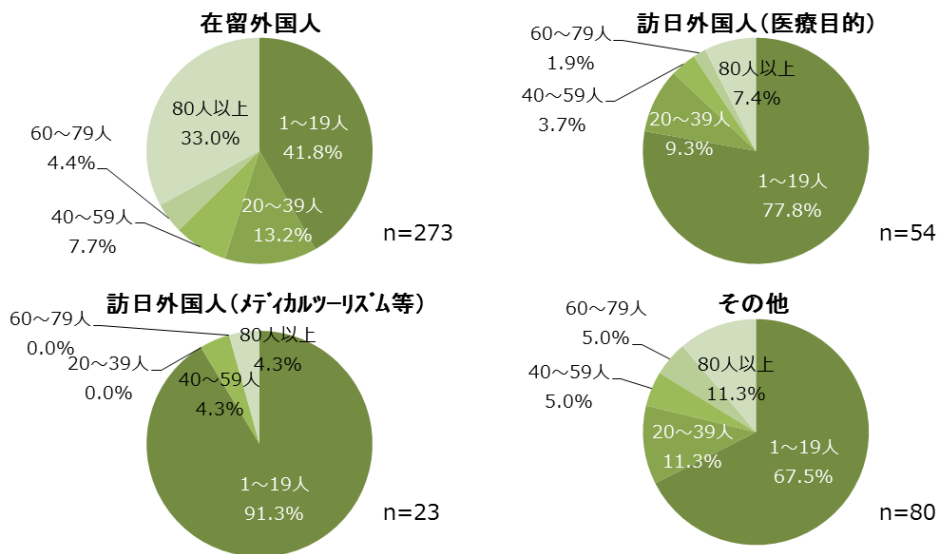


※訪日外国人の「医療目的」は診療・検査、健診・検診を含む



外国人患者の受入人数は在留外国人については1～19人の病院が41.8%、80人以上の病院が33.0%と二極分化しているが、医療目的、メディカルツーリズム等、その他においては1～19人の病院が多くを占めていた。

	在留外国人		訪日外国人 (医療目的)		訪日外国人 (メディカルツーリズム等)		その他	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
1～19人	114	41.8%	42	77.8%	21	91.3%	54	67.5%
20～39人	36	13.2%	5	9.3%	0	0.0%	9	11.3%
40～59人	21	7.7%	2	3.7%	1	4.3%	4	5.0%
60～79人	12	4.4%	1	1.9%	0	0.0%	4	5.0%
80人以上	90	33.0%	4	7.4%	1	4.3%	9	11.3%
合計	273	100.0%	54	100.0%	23	100.0%	80	100.0%



## (2) 患者の主な出身国、属性

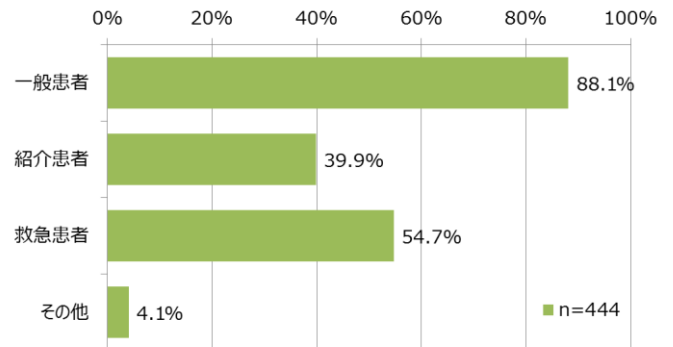
### ① 出身国 (複数選択)

患者の主な出身国としては中国 76.2%、韓国 45.6%、アメリカ 43.0%、フィリピン 38.3%であった。

病院数		割合		病院数		割合		病院数		割合	
中国	326	76.2%	カンボジア	9	2.1%	ブラジル	100	23.4%			
アメリカ	184	43.0%	シンガポール	25	5.8%	ベトナム	62	14.5%			
イギリス	41	9.6%	タイ	52	12.1%	ミャンマー	14	3.3%			
イラン	19	4.4%	トルクメニスタン	1	0.2%	メキシコ	6	1.4%			
インド	60	14.0%	トルコ	14	3.3%	ラオス	5	1.2%			
インドネシア	60	14.0%	ドイツ	24	5.6%	ロシア	55	12.9%			
オーストラリア	36	8.4%	バーレーン	1	0.2%	その他	152	35.5%			
カタール	4	0.9%	フィリピン	164	38.3%						
韓国	195	45.6%	フランス	20	4.7%						

## ②患者属性（複数選択）

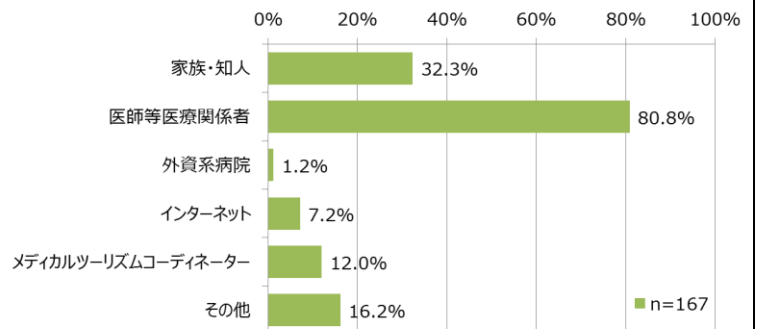
n=444		
	病院数	割合
一般患者	391	88.1%
紹介患者	177	39.9%
救急患者	243	54.7%
その他	18	4.1%



## (3) 紹介による患者の「紹介者」（複数選択）

医師等医療関係者については、開業医からの病院への患者紹介が多いのだろうか。  
 メディカルツーリズムコーディネーターの紹介も 12.0%（20 病院）であった。

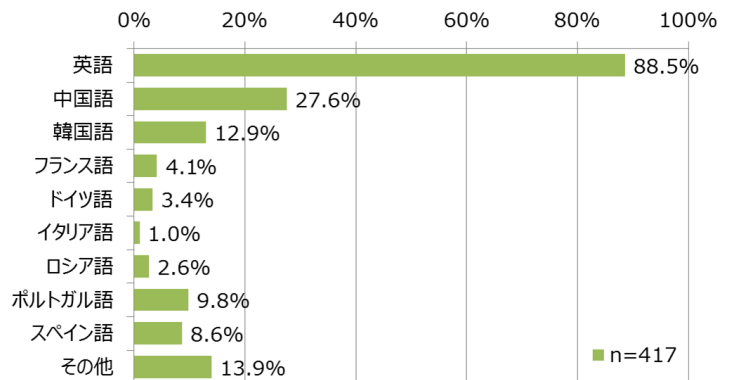
n=167		
	病院数	割合
家族・知人	54	32.3%
医師等医療関係者	135	80.8%
外資系病院	2	1.2%
インターネット	12	7.2%
メディカルツーリズムコーディネーター	20	12.0%
その他	27	16.2%



## 2. 貴院では、どの外国語に対応可能か（複数選択）

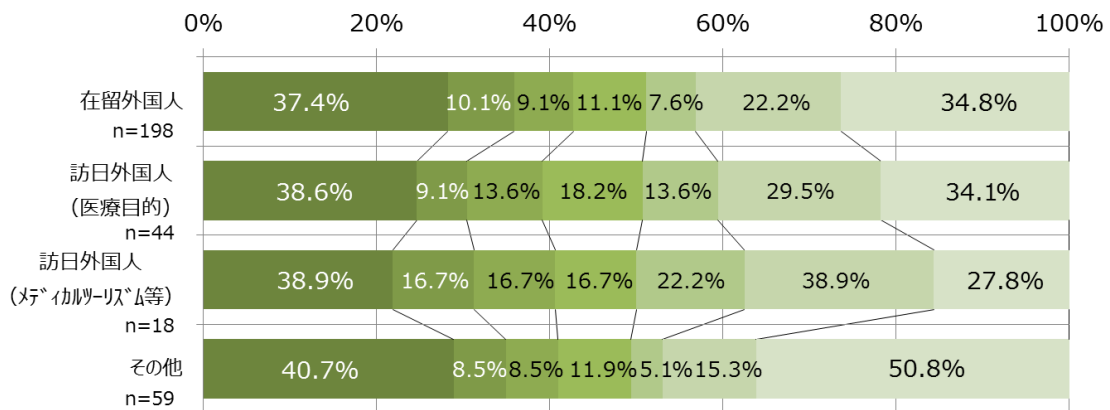
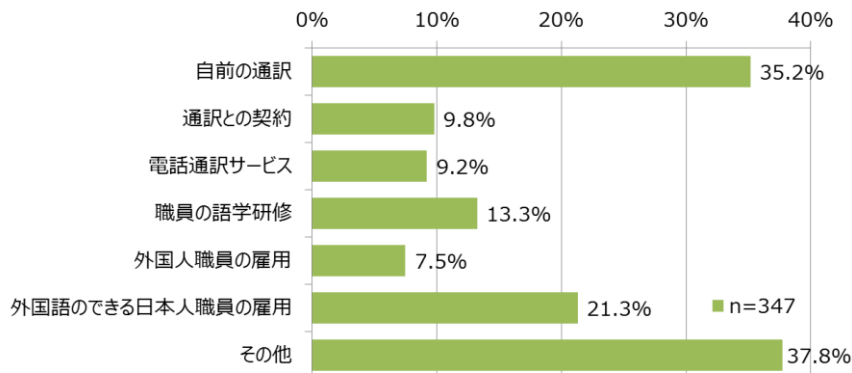
患者の主な出身国と比較すると患者数の多い中国語、韓国語に対応できる病院が少ない。

n=417		
	病院数	割合
英語	369	88.5%
中国語	115	27.6%
韓国語	54	12.9%
フランス語	17	4.1%
ドイツ語	14	3.4%
イタリア語	4	1.0%
ロシア語	11	2.6%
ポルトガル語	41	9.8%
スペイン語	36	8.6%
その他	58	13.9%



### 3. 外国語対応能力の向上のための取り組み（複数選択）

自前の通訳が居る病院は 35.2%の割合にとどまっている。

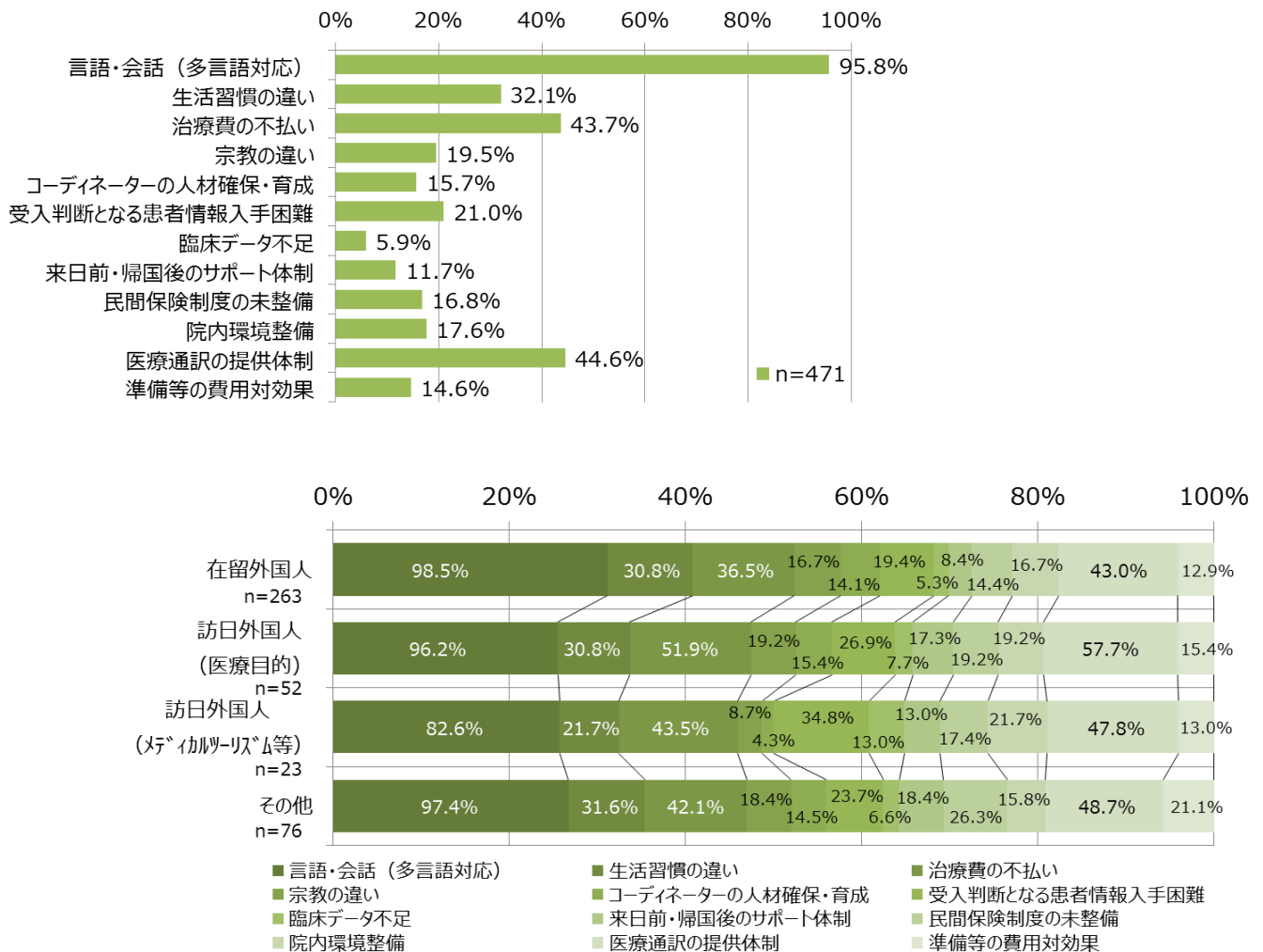


■ 自前の通訳 ■ 通訳との契約 ■ 電話通訳サービス ■ 職員の語学研修 ■ 外国人職員の雇用 ■ 外国語のできる日本人職員の雇用 ■ その他

	n=198		n=44		n=18		n=59	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
自前の通訳	74	37.4%	17	38.6%	7	38.9%	24	40.7%
通訳との契約	20	10.1%	4	9.1%	3	16.7%	5	8.5%
電話通訳サービス	18	9.1%	6	13.6%	3	16.7%	5	8.5%
職員の語学研修	22	11.1%	8	18.2%	3	16.7%	7	11.9%
外国人職員の雇用	15	7.6%	6	13.6%	4	22.2%	3	5.1%
外国語のできる日本人職員の雇用	44	22.2%	13	29.5%	7	38.9%	9	15.3%
その他	69	34.8%	15	34.1%	5	27.8%	30	50.8%

#### 4. 外国人患者受入れについての課題（問題点等）（複数選択）

問題点としては言語・会話については95.8%と多く、ついで医療通訳の提供体制が44.6%と多いことから、外国語への対応が問題として大きい。

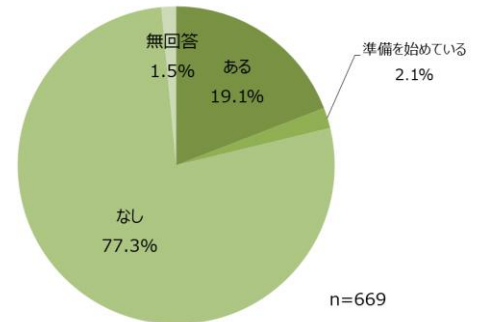


課題（問題点等）	n=263 在留外国人		n=52 訪日外国人 (医療目的)		n=23 訪日外国人 (メディカルツーリズム等)		n=76 その他	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
言語・会話（多言語対応）	259	98.5%	50	96.2%	19	82.6%	74	97.4%
生活習慣の違い	81	30.8%	16	30.8%	5	21.7%	24	31.6%
治療費の不払い	96	36.5%	27	51.9%	10	43.5%	32	42.1%
宗教の違い	44	16.7%	10	19.2%	2	8.7%	14	18.4%
コーディネーターの人材確保・育成	37	14.1%	8	15.4%	1	4.3%	11	14.5%
受入判断となる患者情報入手困難	51	19.4%	14	26.9%	8	34.8%	18	23.7%
臨床データ不足	14	5.3%	4	7.7%	3	13.0%	5	6.6%
来日前・帰国後のサポート体制	22	8.4%	9	17.3%	3	13.0%	14	18.4%
民間保険制度の未整備	38	14.4%	10	19.2%	4	17.4%	20	26.3%
院内環境整備	44	16.7%	10	19.2%	5	21.7%	12	15.8%
医療通訳の提供体制準備等の費用対効果	113	43.0%	30	57.7%	11	47.8%	37	48.7%
準備等の費用対効果	34	12.9%	8	15.4%	3	13.0%	16	21.1%

### Ⅲ. 外国人医療者の受入れについて

#### 1. 外国人医療者の受入れ経験

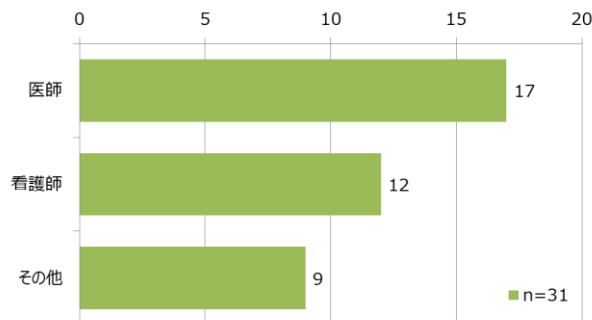
	病院数	割合
ある	128	19.1%
準備を始めている	14	2.1%
なし	517	77.3%
無回答	10	1.5%
合計	669	100.0%



#### (1) A. 外国人医療者の受入れ人数（平成 26 年度）

##### ① 職種〈技術支援〉（複数選択）

外国人医療者を受入れた人数（平成 26 年度）①職種〈技術支援〉では、医師・看護師・その他職種を受入れた病院が下記の数値となっている。



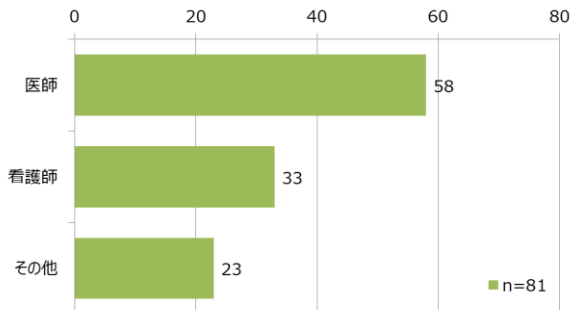
##### ・ 職種〈技術支援〉\_内訳（複数選択）

外国人医療者を受入れた人数（平成 26 年度）①職種〈技術支援〉は、ほとんどの病院が職種に関係なく 10 人未満が多い。

	医師		看護師		その他	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
10人未満	13	76.5%	12	100.0%	9	100.0%
10～19人	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%
20～29人	2	11.8%	0	0.0%	0	0.0%
30～39人	1	5.9%	0	0.0%	0	0.0%
40人以上	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	17	100.0%	12	100.0%	9	100.0%

### ①-2 職種〈教育研修〉（複数選択）

外国人医療者を受入れた人数（平成 26 年度）①職種〈教育研修〉は〈技術支援〉の受入と比べると医師を受入れている病院数が多くなっている。



#### ・ 職種〈教育研修〉\_内訳（複数選択）

外国人医療者を受入れた人数（平成 26 年度）①職種〈教育研修〉においても人数は 10 人未満が多いが〈技術支援〉に比較すると 10～19 人を受入れた病院の数が増えている。

	医師		看護師		その他	
	病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
10人未満	49	84.5%	28	84.8%	18	78.3%
10～19人	5	8.6%	3	9.1%	3	13.0%
20～29人	3	5.2%	1	3.0%	1	4.3%
30～39人	0	0.0%	1	3.0%	0	0.0%
40人以上	1	1.7%	0	0.0%	1	4.3%
合計	58	100.0%	33	100.0%	23	100.0%

### ②受入国（複数選択）

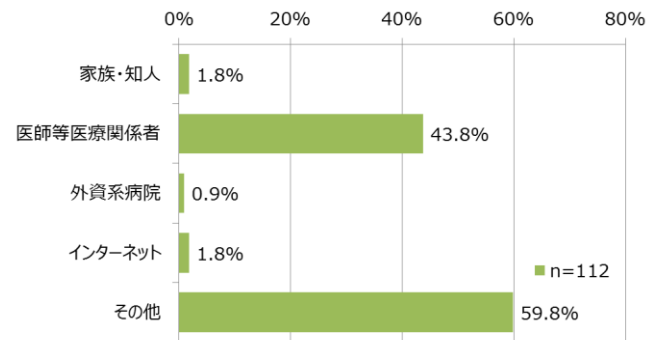
受入れた国別では中国、インドネシア、フィリピン、韓国の順となる。

病院数		割合		病院数		割合		病院数		割合	
中国	50	41.7%	シンガポール	1	0.8%	ベトナム	12	10.0%			
アメリカ	11	9.2%	タイ	10	8.3%	ミャンマー	7	5.8%			
イギリス	5	4.2%	トルクメニスタン	0	0.0%	メキシコ	5	4.2%			
イラン	0	0.0%	トルコ	5	4.2%	ラオス	5	4.2%			
インド	6	5.0%	ドイツ	2	1.7%	ロシア	6	5.0%			
インドネシア	20	16.7%	バーレーン	0	0.0%	その他	32	26.7%			
オーストラリア	3	2.5%	フィリピン	17	14.2%	マレーシア	3	2.5%			
カタール	0	0.0%	フランス	4	3.3%	ブルネイ	0	0.0%			
韓国	15	12.5%	ブラジル	4	3.3%						
カンボジア	5	4.2%									

※「マレーシア」「ブルネイ」は、その他を参照

### ③紹介者（複数選択）

	n=112	
	病院数	割合
家族・知人	2	1.8%
医師等医療関係者	49	43.8%
外資系病院	1	0.9%
インターネット	2	1.8%
その他	67	59.8%



### ④受入診療科（複数選択）

外国人医療者を受入れた人数（平成26年度）④受入診療科（複数選択）については、内科（23.8%）、外科（21.9%）、循環器科（13.3%）、脳神経外科（13.3%）、消化器科（12.4%）、整形外科（12.4%）の順。

病院数		割合		病院数		割合		病院数		割合	
内科	25	23.8%	整形外科	13	12.4%	産婦人科	7	6.7%			
精神科	2	1.9%	美容外科	0	0.0%	眼科	5	4.8%			
神経内科	6	5.7%	脳神経外科	14	13.3%	耳鼻咽喉科	3	2.9%			
呼吸器科	9	8.6%	呼吸器外科	4	3.8%	放射線科	9	8.6%			
消化器科	13	12.4%	心臓血管外科	3	2.9%	歯科・口腔外科	0	0.0%			
循環器科	14	13.3%	皮膚科	2	1.9%	その他	57	54.3%			
小児科	8	7.6%	泌尿器科	8	7.6%						
外科	23	21.9%									

## (2) B. 外国人医療者の受入れ予定人数

### ①予定する職種＜技術支援＞（複数選択）

#### ・医師

	病院数 合計	27年度		28年度		29年度	
		病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
1人	1	0	0.0%	1	50.0%	0	-
2人	3	2	50.0%	1	50.0%	0	-
3人	0	0	0.0%	0	0.0%	0	-
4人	1	1	25.0%	0	0.0%	0	-
5人以上	1	1	25.0%	0	0.0%	0	-
合計	6	4	100.0%	2	100.0%	0	-

・ 看護師

	病院数 合計	27年度		28年度		29年度	
		病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
1人	4	3	37.5%	1	100.0%	0	-
2人	4	4	50.0%	0	0.0%	0	-
3人	1	1	12.5%	0	0.0%	0	-
4人	0	0	0.0%	0	0.0%	0	-
5人以上	0	0	0.0%	0	0.0%	0	-
合計	9	8	100.0%	1	100.0%	0	-

・ その他

	病院数 合計	27年度		28年度		29年度	
		病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
1人	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
2人	2	0	0.0%	1	100.0%	1	100.0%
3人	1	1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%
4人	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
5人以上	0	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	3	1	100.0%	1	100.0%	1	100.0%

①-2 予定する職種＜教育研修＞（複数選択）

・ 医師

	病院数 合計	27年度		28年度		29年度	
		病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
10人未満	27	25	89.3%	2	100.0%	0	-
10～19人	2	2	7.1%	0	0.0%	0	-
20～29人	0	0	0.0%	0	0.0%	0	-
30～39人	0	0	0.0%	0	0.0%	0	-
40人以上	1	1	3.6%	0	0.0%	0	-
合計	30	28	100.0%	2	100.0%	0	-

・ 看護師

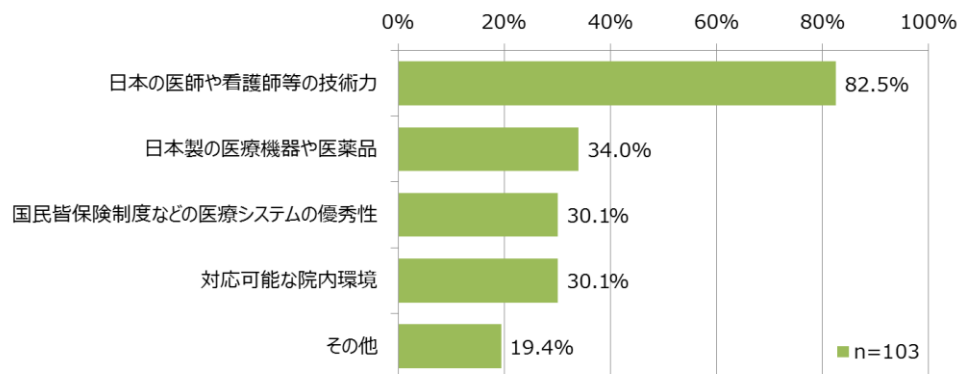
	病院数 合計	27年度		28年度		29年度	
		病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
10人未満	18	17	89.5%	1	100.0%	0	-
10～19人	2	2	10.5%	0	0.0%	0	-
20～29人	0	0	0.0%	0	0.0%	0	-
30～39人	0	0	0.0%	0	0.0%	0	-
40人以上	0	0	0.0%	0	0.0%	0	-
合計	20	19	100.0%	1	100.0%	0	-



・その他

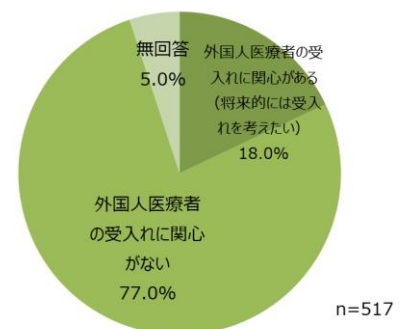
	病院数 合計	27年度		28年度		29年度	
		病院数	割合	病院数	割合	病院数	割合
10人未満	8	8	66.7%	0	-	0	-
10～19人	2	2	16.7%	0	-	0	-
20～29人	1	1	8.3%	0	-	0	-
30～39人	0	0	0.0%	0	-	0	-
40人以上	1	1	8.3%	0	-	0	-
合計	12	12	100.0%	0	-	0	-

(3) 外国人医療者にアピールしたいと考える貴院の特長（複数選択）



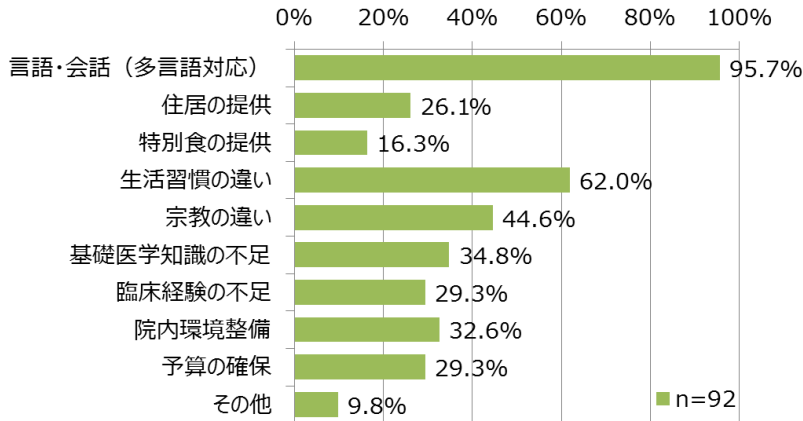
2. 外国人医療者を受入れた経験のない施設に質問

	病院数	割合
外国人医療者の受入れに関心がある (将来的には受入れを考えたい)	93	18.0%
外国人医療者の受入れに関心がない	398	77.0%
無回答	26	5.0%
合計	517	100.0%



### 3. 外国人医療者の受入れで心配されること（複数選択）

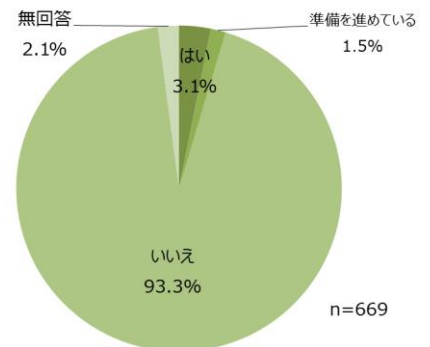
外国人医療者の受入れで心配されることにおいては言語の問題が大きいことが改めて認識された。



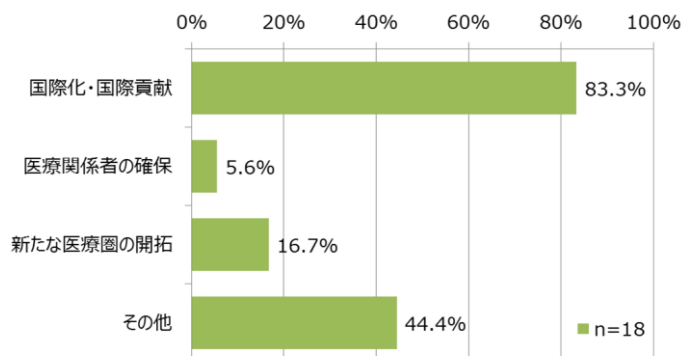
## IV. 海外での診療について

### 1. 現在、海外での診療に取り組んでいるか

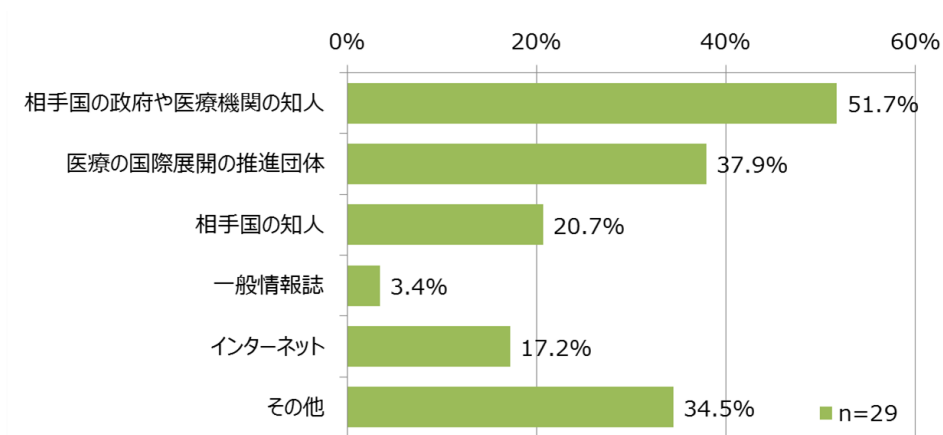
	病院数	割合
はい	21	3.1%
準備を進めている	10	1.5%
いいえ	624	93.3%
無回答	14	2.1%
合計	669	100.0%



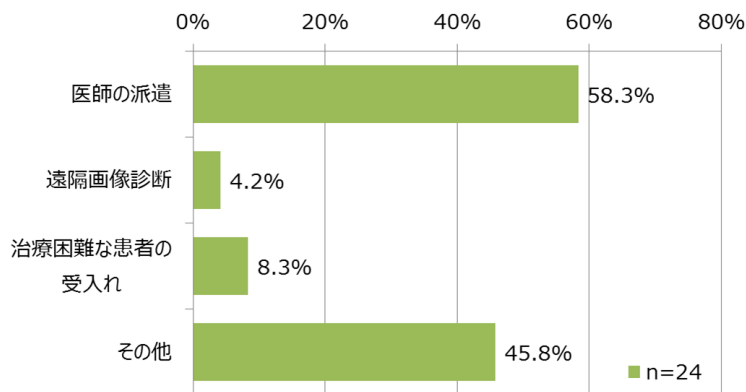
### ・進出理由（複数選択）



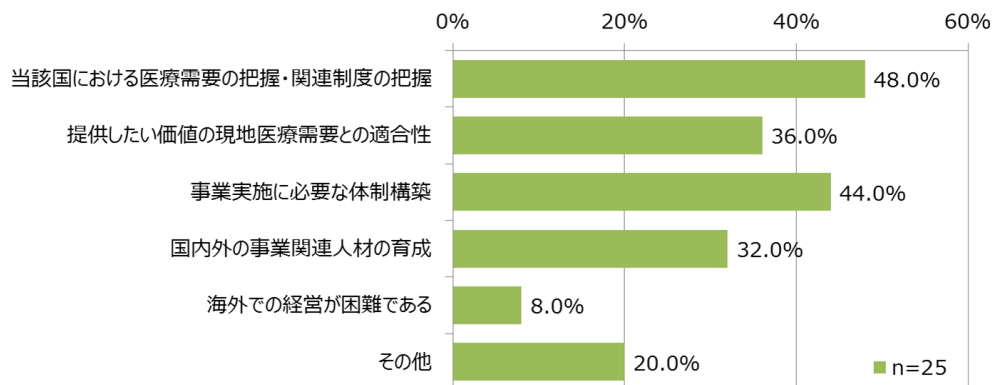
(1) 海外の情報はどうに得ているか（複数選択）



(2) 海外で展開する診療において、貴院の特長（複数選択）

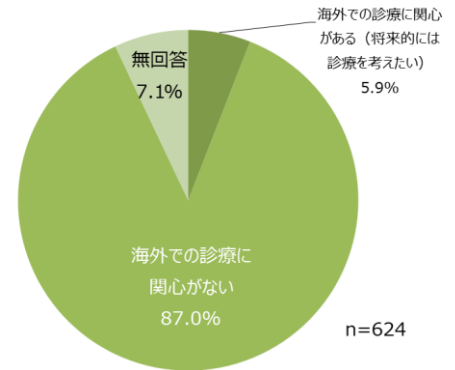


2. 海外での診療についての課題（問題点等）（複数選択）

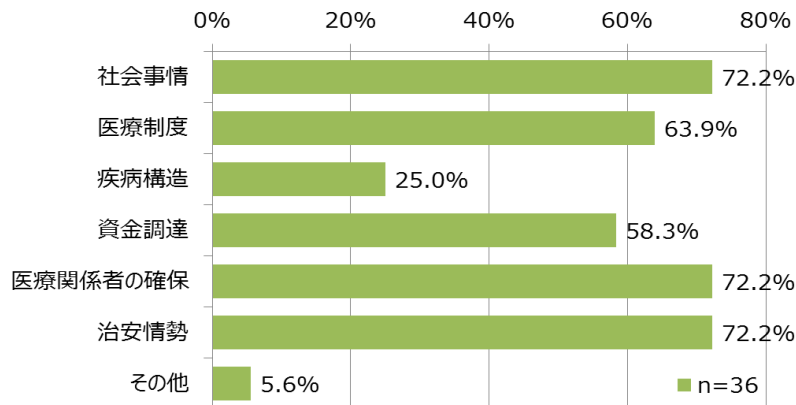


### 3. 海外での診療経験のない施設に質問

	病院数	割合
海外での診療に関心がある (将来的には診療を考えたい)	37	5.9%
海外での診療に関心がない	543	87.0%
無回答	44	7.1%
合計	624	100.0%



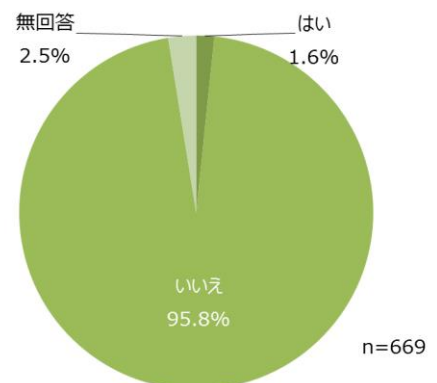
### 4. 海外での診療において心配されること（複数選択）



## V. 海外医療サービスの展開について

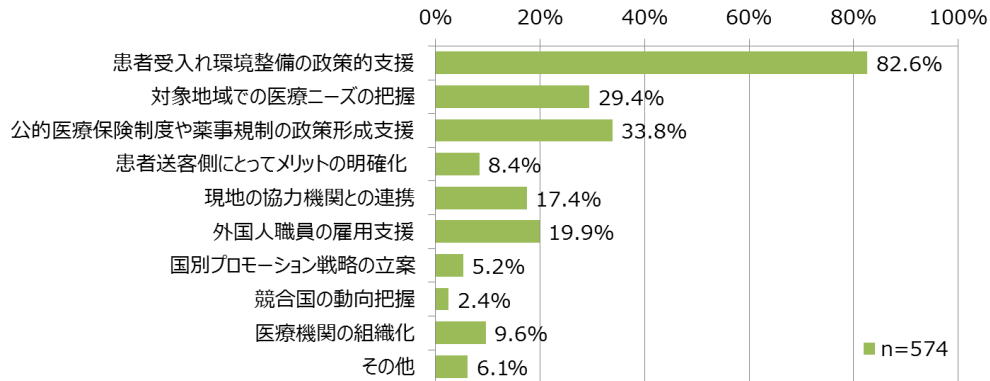
### 1. 海外医療サービス提供に取り組んでいるか

	病院数	割合
はい	11	1.6%
いいえ	641	95.8%
無回答	17	2.5%
合計	669	100.0%



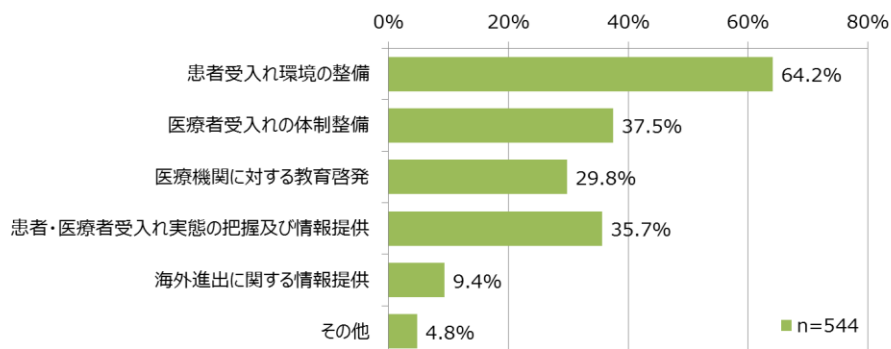
## VI. 全般において

### 1. 行政（厚生労働省、経済産業省等）や地方自治に期待すること（複数選択）



	n=574	
	病院数	割合
患者受入れ環境整備の政策的支援 (医療通訳・コーディネーター雇用等)	474	82.6%
対象地域での医療ニーズの把握	169	29.4%
公的医療保険制度や薬事規制の政策形成支援	194	33.8%
患者送客側にとってメリットの明確化	48	8.4%
現地の協力機関との連携	100	17.4%
外国人職員の雇用支援	114	19.9%
国別プロモーション戦略の立案	30	5.2%
競合国の動向把握	14	2.4%
医療機関の組織化	55	9.6%
その他	35	6.1%

### 2. 日本病院会に期待すること（複数選択）

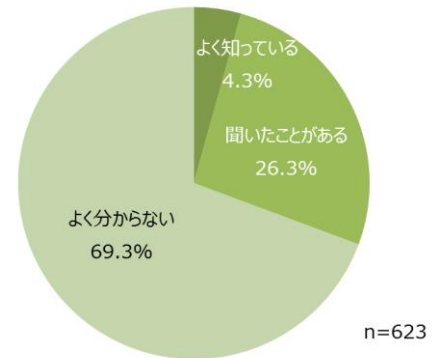


	n=544	
	病院数	割合
患者受入れ環境の整備	349	64.2%
医療者受入れの体制整備	204	37.5%
医療機関に対する教育啓発	162	29.8%
患者・医療者受入れ実態の把握及び情報提供	194	35.7%
海外進出に関する情報提供	51	9.4%
その他	26	4.8%

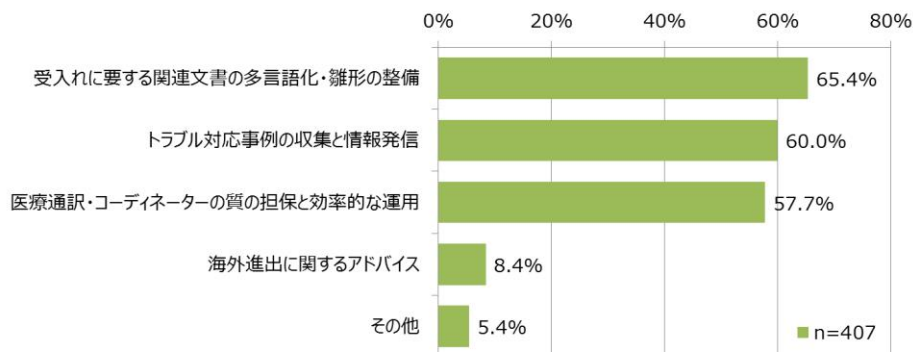
### 3. 「一般社団法人 Medical Excellence JAPAN」について

MEJ については知らない病院が 69.3% を占めた。

	病院数	割合
よく知っている	27	4.3%
聞いたことがある	164	26.3%
よく分からない	432	69.3%
合計	623	100.0%



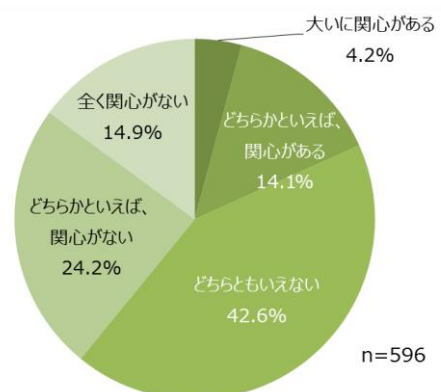
### 4. MEJ に期待することは何か（複数選択）



	病院数	割合
受入れに要する関連文書の多言語化・雛形の整備	266	65.4%
トラブル対応事例の収集と情報発信	244	60.0%
医療通訳・コーディネーターの質の担保と効率的な運用	235	57.7%
海外進出に関するアドバイス	34	8.4%
その他	22	5.4%

### 5. 海外現地の医療機器開発

	病院数	割合
大いに興味がある	25	4.2%
どちらかといえば、興味がある	84	14.1%
どちらともいえない	254	42.6%
どちらかといえば、興味がない	144	24.2%
全く興味がない	89	14.9%
合計	596	100.0%



**【担当委員会】**

一般社団法人日本病院会 国際医療推進委員会

会 長	堺 常雄	聖隷浜松病院 総長
委員長（担当副会長）	相澤 孝夫	相澤病院 理事長・病院長
委 員（担当副会長）	末永 裕之	小牧市民病院 病院事業管理者・病院長
委 員（担当副会長）	梶原 優	板倉病院 理事長
委 員	宇都宮 啓	国立国際医療研究センター 企画戦略局長兼国際医療協力局長
委 員	亀田 信介	亀田総合病院 病院長
委 員	木村 壯介	日本医療安全調査機構 中央事務局 専務理事
委 員	福井 次矢	聖路加国際病院 病院長
特別委員（名誉会長）	山本 修三	一般社団法人 Medical Excellence JAPAN 理事長